

リスク管理

都市化は、人口集積による交流促進濃度を高め、文化的進化を高めるとともに、経済効率を促し富の蓄積が進むことで文明的進化も図られる。有史以来、都市国家のパピロニア、エジプト、中国、インドなどにおける人類の発展は、この都市化によってもたらされてきた。しかし、この都市化の影で、われわれは、いくつかのリスクも併せて解決しなければならぬ十字架を背負うことになった。

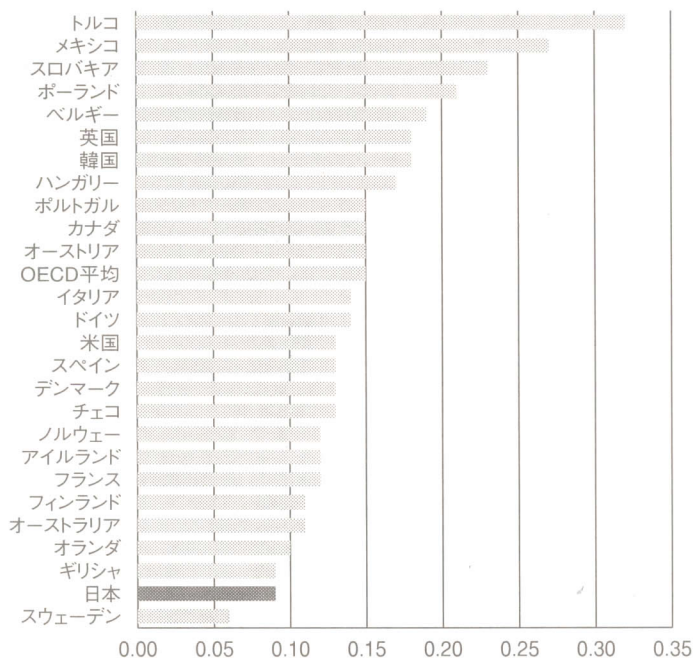
第1が、生活環境の悪化である。騒音、悪臭、ゴミ、混雑などにより、生活そのものが不可能になる状況も有り得る。第2が、自然の喪失である。都市化と引き換えに、祖先から引き継いできた自然環境が失われていく。

リスクマネジメント

ABC

都市化

一人当たりのGDPの地域間格差(ジニ係数)の国際比較



発展の影で十字架背負う

第3が、生活時間の制約である。郊外化により、通勤時間が延びるなど、生活のリズムが違ってくる。第4が、地方活力の低下である。人口が都会に集中してくる一方で、地方の過疎化も進み、活力も低下してくる。

第5が、安全性の低下である。犯罪、孤独死、交通事故など、社会の安全性が極端に低下して来る。

ただ、わが国における都市化は、都市の地方との格差をあまり生んでいないという特徴がある。図は、一人当たり国内総生産(GDP)の地域間格差の国際比較であるが、わが国は経済協力開発機構(OECD)加盟国の中で、地域間格差の最も小さい国のひとつである。

これからのコラムで、このようなわが国の特性をふまえつつ、都市化のリスクについて、説明していく。

(日本総合研究所)